

熊本市歯科医師会会誌

第 63 号



第12回バレーボール大会

表紙の写真

昭和63年7月3日

第12回熊本市歯科医師会バレーボール大会

(東海第二高校体育館にて)

目 次

第12回 バレーボール大会	西口 和弘	2
学術講演会「硬質レジンのクラウン・ブリッジへの応用」	緒方 敏克	15
パラデンタル・スタッフ、レベルアップ・セミナー		
キャリア開発研究所 所長 荒川 寿子	藤波 好文	18
ブラッシング指導、実習研修会	小柳 大明	20
アンケート調査結果報告	川崎 俊明	21
委員会だより		
社保委員会		24
学術委員会		26
サンアントニオ市歯科医師会長を訪ねて	池上 富雄	29
本日休診		
山歩きの記	奥田 実	33
私の趣味の世界	天村 美堯	35
新入会員紹介		36
勉強部屋	中西 一夫	38
新樹会第3回例会	吉良 裕明	42
会務報告		43
編集後記		

第12回熊本市歯科医師会 バレーボール大会開催さる

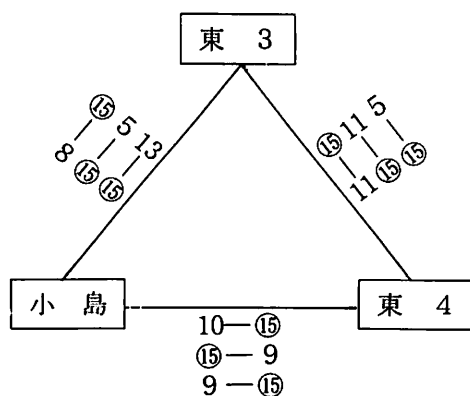
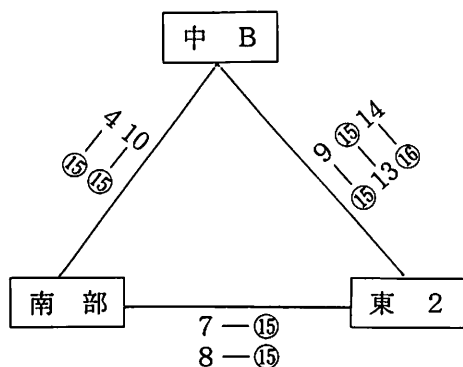
“東部 4 優勝”

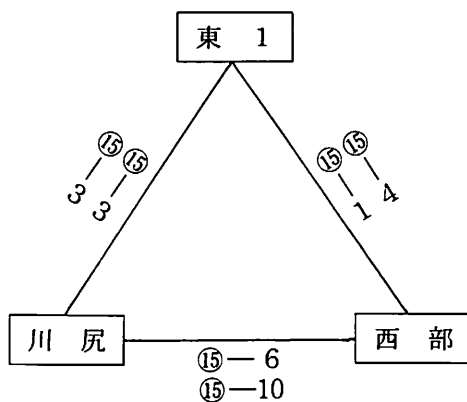
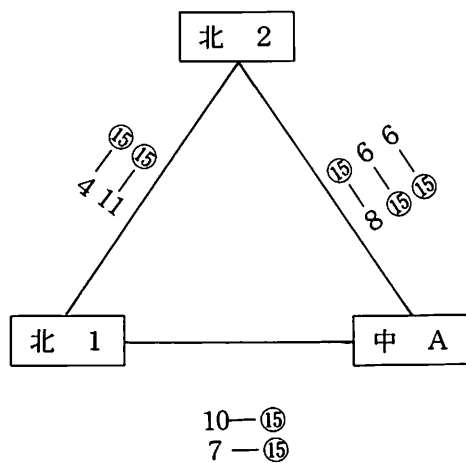
去る 7 月 3 日、熊本市歯科医師会厚生委員会主催の第12回熊本市歯科医師会バレーボール大会が東海第2 高校体育館において開催されました。中根会長の挨拶に始まり、昨年優勝の東部 2 支部よりトロフィー返還、厚生委員古賀先生によるルール説明、抽選、中央 A 川崎俊明先生による選手宣誓と続き、いよいよ試合開始となりました。4 コートにわかれ午前中予選リーグ12試合、午後決勝トーナメント12試合が行われました。結果は下記の通りでしたが、コーチを擁し練習量豊富な東部 4 が下馬評通り優勝し、大会初の V 3 をめざ

した東部 2 が準決勝で東部 4 に敗れ結局 3 位に終わり、2 位には今年こそ優勝をと意気込んでいた中央 A が入りました。また今年の大会は、ここ数年 9 位以下で低迷が続いていた東部 1 が 4 位、秘密兵器を備えた小島が 5 位と健闘しました。全24試合中14試合がフルセットにもつれこむ程、実力が伯仲し試合時間も長くなり選手の疲労もピークに達したようでしたが大過なく終わることができました。鈴木副会長の閉会の辞をもって、午後 4 時半すぎに全日程を終了しました。

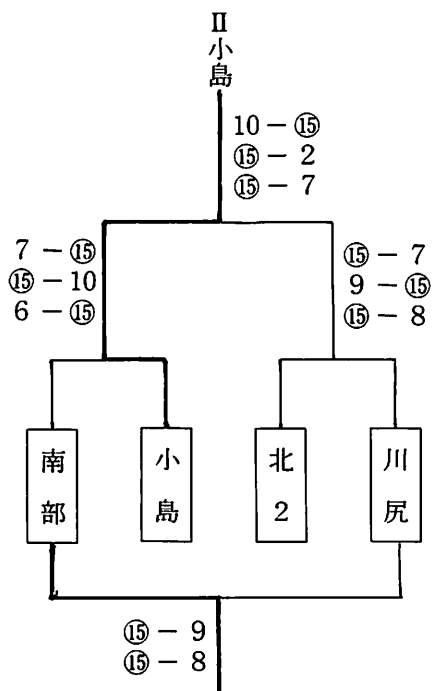
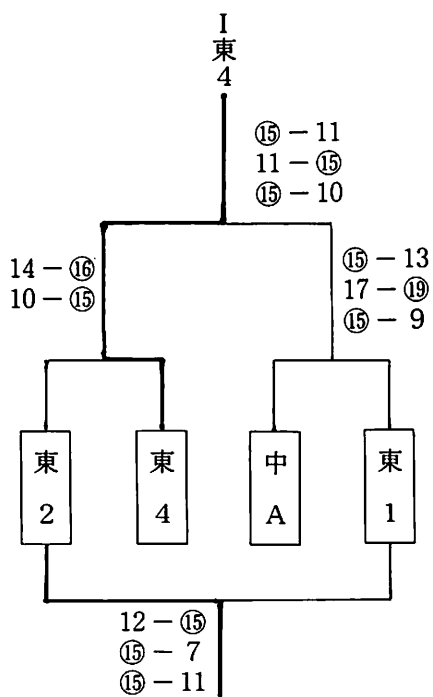
(厚生委員 西口和弘)

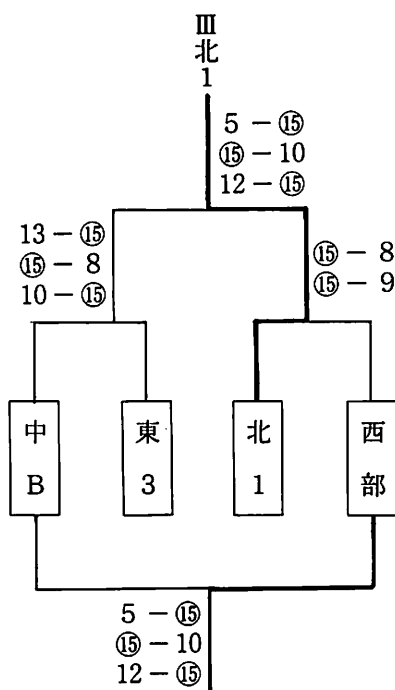
《予選リーグ》





《決勝トーナメント》



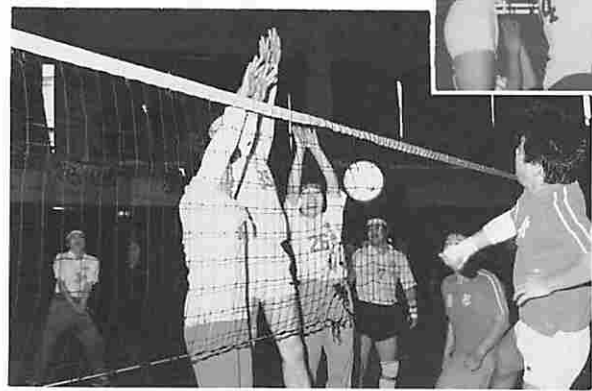


	優 秀 選 手 賞	敢 闘 賞
中 央 A	奥 山 貴 子	秋 山 清 一
中 央 B	清 水 康 裕	千 場 布 記 子
東 部 1	西 田 幸 代	荒 牧 照 代
東 部 2	上 山 勝 昭	中 本 志 保
東 部 3	原 真 奈 美	畑 島 和 明
東 部 4	本 村 ゆ かり	津 田 佳 輝
北 部 1	吉 田 ひ でき	増 永 光 子
北 部 2	河 島 潤 子	足 立 陽 子
南 部	山 本 真	沢 村 優
西 部	住 本 和 隆	鬼 塚 啓 史
小 島	上 村 文 子	吉 弘 与 美
川 尻	安 藤 五 十 美	三 角 洋 介



▲まずは会長あいさつで

▼これでもか！
しかし右手はネットに……



▲ナイスブロックと思ったのですが……

▼オーライ・オーライ
しかし回りの目は心配そう



▲ナイス・レシーブ



▲子供達は生き生き、係の先生はグッタリ！

▼どちらも完璧、さて結果は……



▼この一瞬がバレーボール大会を企画した
厚生委員達の願う姿です



▼ヤッター、ベイビー！
東部4 優勝の瞬間



▲オレが優勝した東部4のボスだ、文句あつか！

参加チームの顔

南部



昨年、優勝決定戦で東部Ⅱとフルセットの末、惜しくも敗れ優勝を逃したことが大きなバネとなって、今年こそはかならず優勝しようと、大塚、鬼塚、有田先生という最強の前衛陣を先頭に選手全員5回の練習に一生懸命頑張って気持ち良い汗を流していました。

南部支部でも年々若い先生方が入会され、現在では2チームできる程の人数になり、練習でも紅白戦ができるようになりました。

今年も2人の先生が入会され、さっそく選手として出場していただきました。

予選リーグのくじ引きでAブロックを引当て、第1試合は中央Bチームをストレートで破り、第2試合は昨年の優勝チーム東部Ⅱとの対戦で、選手全員、昨年の借りを返そうと燃える程の闘志をみせて頑張りました。第1試合に引き続き大塚先生のスパイクはよく当たっていましたが、相手チームのセンターが信じられない程の好守備を連発して、ことごとくスパイクをリターンされ、ついに粘り

負けのストレート負け、残念。

予選リーグで敗れてしまい今年も優勝できなかった。それにしても東部Ⅱは毎年強い。昼食時には用意した缶ビールを全て飲んでしまい、午後からの決勝リーグでは小島支部にも負け7位であった。

日頃運動不足の我々にとって良い汗を流した1日であった。又、南部では1人のけが人もなく選手や応援団の奥さんが喜んで参加し大会を盛り上げた。また来年もいい汗がかけよう頑張らしましょう。

恒例の打ち上げ会では選手、奥さん、子供等が40名程集まり、他の医院とも親睦が深まり有意義な宴会であった。時間とともにビールやウイスキーの一气飲みという大変な盛り上がり方となり、たとえバレーボール大会がなくなっても打ち上げ会だけは続けようと誓って解散となった。

最後にこのバレーボール大会に携わった厚生委員会の皆様、ほんとうにご苦労さまでした。来年もけがのないように楽しくこの大会が運営されますようお願い致します。

谷川貞男

東部2

今年の成績はV3をのがし、3位におわってしまった。しかし練習不足から考えたら、満足すべき成績ではないかと思います。東部Ⅱ支部の先生たちもいろんな委員会に入会し、公私ともに忙しい中をくぐっての練習への参



加だったのでしかたないのではないかと思います。

3位におわった原因は、それよりも他の支部の優勝への執念ではなかったでしょうか。練習開始も2、3カ月前から行い、試合中にも足のケイレンやけがにも負けずに向かってくる闘志に頭が下がる思いがしました。

また今年痛切に感じたのは、体力の低下です。第1、第2試合は、何とか体は動いたのですが、第3、第4試合となると思うように体が動かず、つくづく自分の年齢を思い知らされました。バレーボール大会の練習が終わり、スポーツをする機会が全くなくなってしまっているので、何とか体を動かす機会をつくりたいと感じました。

来年は、自分たちの支部も態勢を整えて、また優勝に手が届くようなチームになるように努力したいと思います。きっと今年よりも強力なチームができると思っています。来年も練習で同じ顔が見れることを楽しみにしています。

永野 忠

北 部 I

梅雨も明けそうになり、暑さも本格化する

頃バレーボール大会があります。北部Iは決して強いチームではないのですが、まとまりのよいチームワークで、その暑さも振り払い、年々躍進してきました。昨年は決勝トーナメントにまで進出し、今年は例年以上の参加者があり、期待されましたが直前にエースの川元先生の急病で不安もでてきました。しかし、練習好きで、ファイトあふれる女性スタッフが多く、練習を積んでいく度に、日頃の院内仕事からの開放、運動不足の解消がはかれ、良い汗を流すことで、他医院との親睦も深まり、益々チームワークもまとまって大会に臨むことができました。



当日午前中は実力よりクジ運で予選リーグを勝ち抜く予定でしたが、運悪く強豪の中央A、北部IIと当たり、先生方の気持ちと体力のギャップの為、ボールが意に反することが多く、女性スタッフの奮闘も及ばず、連敗してしまいました。しかし、全員が出場し、応援と選手が一丸となって試合をし、充実したものでした。午後になると、朝は弱い先生方も午後から夜には自信があるとみえ、元気がでてきて、下位トーナメントとはいえ、軽く連勝？することができました。田中支部長、大嶋プレーイングマネージャーの作戦もやっ

と冴え、また参加を楽しむ大会とはいえ、やはり勝利の味は大きく、会場の暑さ以上に熱気と気合がはいる、盛り上がった大会となりました。

1人の負傷者もなかったことは幸いでしたし、打ち上げには中根会長、林田先生、堤先生、寺脇先生も参加され、バレーボール、診療のこと等、日中以上に盛り上がり、今後も素晴らしく交流が続くことと、来年も頑張ることを誓いあい、楽しい1日を過ごしました。

最後に運営、進行とお世話になりました厚生委員の先生方と審判員の皆様に感謝し、今後ともこの様な企画が続けられることを期待しております。

藤波好文

東 部 4



63年7月3日、私にとって素晴らしい1日が訪れた。それは全く自分自身すら予想しない出来事だった。それだけにあの優勝の瞬間の感動と祝勝会で飲んだビールの味は今でも忘れていないし、学生時代にテニスをやっていた頃の「一球是魂」の言葉を久し振りに噛みしめた1日であった。

「第12回熊本市バレーボール大会」は今年

から支部長を引き受けた私にとって支部長としての初仕事であった。

周りから早い、早いと言われながら4月より練習開始。希望に燃えて練習につぐ練習、そして最後の練習が終わり、支部長より選手に一言「負けてもいいから声を出して自分を主張する事」。この頃は「1回でも勝てば」が本心であった。そして7月3日を待った。

初戦よりフルセット、2回戦もフルセットの苦戦の連続の末の勝利。

決勝トーナメントへ

前年度優勝の東部2に、まさかの勝利。

そしてついに優勝戦フルセットの末に強敵中央Aを倒し優勝感激の三本締め。一人一人の小さな9つの力が1つにまとまり、大きな力となって勝ち得た勝利の感動であった。

最後にこんなに素晴らしい1日をお世話して頂いた市の厚生委員会の先生方に、厚くお礼申し上げます。さあ来年！！東部4より優勝トロフィーを奪い取っていただくだけのファイトあるチームがあるかな・・・。

千場敏昭

小 島



今回で12回目を迎えたバレーボール大会で

すが、私としては早、6度目の出場となりました。毎年出場するたびに体力の衰えを感じる次第でございます。

小島支部は飽託郡（河内、天明、飽田、北部）それに熊本市の郊外である、みんなが知らない町、高橋、小島 e t c から構成され、しかも会員数は非常に少ないのでいつもメンバー不足で困っています。（増えてもらっちゃ経営難になる恐れがあるので余計に困る。）にもかかわらず何故か今回は練習1回きりでしたが、毎年最下位をうろうろしていたチームとは思えないような5位入賞という輝かしい成績をおさめることができました。

5位入賞でこれだけの喜びがあるのですから、優勝したチームはやめられないはずでしょうね。

いままでは参加すれば良いと思っていましたが、今回良い成績でしたので来年こそは練習を増やして上位入賞を目ざし頑張りたいと思っています。

最後になりましたが、サウナ風呂の様なむし暑い体育館の中で参加、又は応援していただいた先生方、御家族、並びに従業員の皆様方大変お疲れ様でした。

奈良健一

西 部

始めてバレーボール大会に参加して感じたことは、先ず参加人数の多いこと、しかもその熱気に驚かされました。かなり練習を重ねてきたと思われる支部があって、その気合の入れようにはただ脱帽。この大会を盛り上げる原動力なのだと感じさせられました。また、



真剣なプレーの合間にはあちこちで心なごむ Dental family の姿がみられ、ほほえましく感じられました。

さて肝心の私はというと、バレーボールに対するセンスの無さを暴露してしまい、自分でもこんなに下手だったのかとあらためて思い知らされました。『穴があったら入りたい』とは、まさにその時の心境でした。

しかしながらスポーツで汗を流した後の爽快感は何物にも換えがたく、勝利の味もかみしめることができ（最終戦＝最下位決定戦において接戦の末、勝つことができました）、また他の先生方との交流やチーム内の和気あいあいとした雰囲気など、楽しく有意義な一日を過ごすことができたと思っています。

本大会が今後益々発展することを祈念致しております。

鬼塚啓史

中央 A

私は緒方進歯科に勤めて今年で2年目になりますが、今年初めてバレーボール大会に参加しました。中学、高校とスポーツをしてきましたが、卒業後ほとんど体を動かし、汗を流す機会がなく、これで本当に試合に出れる



のかと不安でした。6月2日から始まった計8回の夜間練習では、コーチのしごきがあり、あざをあちこちに作りながらも、久しぶりの汗に快感を覚え、楽しく動き回りました。練習にも慣れて他支部とも何度か試合する事が出来、勢いに乗ったところで7月3日の第12回大会に臨みました。Aチームは第9回大会で輝かしい優勝、それから3位、2位ときて、今年こそはまた優勝旗を奪回しようと、かなり気合が入っていました。同期の友達には大会の何日も前から「今年は中央Aが優勝するからね。」と大胆な事を、^{ひんしゆく}顰蹙をかいながらも言って回り、自ら優勝せざるをえない状況まで作ってしまいました。当日は朝早くから練習を開始しました。Aチーム、Bチーム共にレシーブ、トス、アタックのチームワークプレーは完璧なものでした……。試合の直前までは。1回戦の1試合目は中央Aらしい、おとなしく、控え目なプレーで相手チームの波に乗せられてしまいました。その上、アタックはいまいち決まらず、練習の時は見過ぎていたタッチネットは次々と取られ、このままでは1回戦で……という不安の中、皆で気合を入れ直し、声を出す事、得点した時には全員集まって喜ぶ事に決めました。単純な事

ですが、このことでさっきまでは9人ばらばらだったチームが1つに団結して、その力で相手チームを圧倒し、結果着々と優勝へ近づいていきました。優勝決定戦では、千場先生の兄弟対決になり、是非とも勝ちたい試合でしたが、いま一步及ばず、今年も又、優勝旗を手にする事が出来ませんでした。優勝という目標を果たす事が出来なかったのは悔やまれますが、院長の快い承諾のもと、このバレーボール大会に参加出来たこと、加えて、団結力の強さとすばらしい人達との出逢いを手に入れたことは、なによりもうれしい事でした。この1日の為は何日も前から準備してくださった先生方、本当にお疲れ様でした。そして参加したみなさん、来年、中央Aは必ず優勝します!!

奥山貴子

北部Ⅱ



夏の風物の中に、甲子園があり、スイカがあり、オートバイ乗りには、スズカ8時間耐久レースがあるように、市の歯科医師会には、バレーボール大会があるのです。あの、クソ暑い体育館の中で、レクリエーションとは、生半可な体力や気力じゃ、とても、とても。

それを補う、皆んなの大会を盛り上げようという情熱と、ファイティングスピリット、そしてなによりも、人間関係を大切に作る心なくしては、とても、最後の試合までもたないのです。

ところが、私にはもう一つ、最後の試合まで頑張れる心の支えがあるのです。それは、大会が終わった後で飲むビールの美味しさです。これは格別！

今年も、昨年負けた中央Aに、また負けてしまいました。しかし、その中央Aは、第2位だったわけで、そこに惜しくも負けた我がチームは、都合良く考えると、第3位か第4位になれたかもしれないわけで、まんざらでもないのです。そう考えながら、結果はともかく、今年の打ち上げも、気持ち良くビールを飲み干し、2次会の大カラオケ大会へと突入していったのです。

西野隆一

東部3



6月中旬、もういくらなんでも練習を始めなくてはならない頃になるとメンバー集めに、支部長 I 先生はそわそわし始めます。昨年の成績は満足いかず、そう言えば打ち上げの時

来年は3ヶ月前から練習だ！と皆で誓い合った言葉を思い出した時はすでに遅く、ま、い、いか、やるだけやろう。しかし、支部長は今年こそトロフィーを東部3へと夢見ます。

(※ I 先生だけがバレーボール経験者で幼年時代は名門のチームに在籍されていました。本当です。) さて、練習開始。サーブ、レシーブ、スパイク!! しかし、ボールは思うようにはいきません。「いいよ、いいよ、ボールを上げるだけでいいよ。」との声。そのうち「いいよ、動いて、動けばとれるんだから……。」もうしばらくすると「みんな声、声だけは出そうね。」と支部長は場を盛り上げようと努力されます。「そう、楽しければいいのよ。」を最後の言葉で試合に臨みます。というような練習風景ですが、ドクターもスタッフも緊張した診療室での関係ではなく、アットホームな、なごやかなひとときです。特に京塚の S 歯科のように診療室では権威ある院長も運動神経のいい若いスタッフに押されぎみ、いやいや、よそのことは言えませんが！

今年も不本意ながらというより、やっぱり順位はふるいませんでしたが、これにこりずキャプテン西口先生(※御存知のとおり、我がチームのヒーローで彼だけが頼りで、毎年このプレッシャーにめげそうになります)は来年こそ支部長の夢をかなえようと、年が明けたら早々に練習を始めようかと思案しています。

永田省蔵

東部 I



中央 B



「練習後の爽快感を求めて!!」

吹き出す汗、全身にみなぎる緊張感、バレーボールがこんなにすばらしいスポーツだとは思いませんでした。

私は今回初めて参加させて頂いたのですが、試合も楽しかったけれど、やはり練習で流した「快汗」が今でも思い出に残ります。

済々黉での練習に6回参加し、中央部の皆さんとも親睦を深めることができました。練習は、ランニングから始まり、準備体操、そしてトス、練習試合と、コーチのもと、一条(?) 乱れぬチームワークで進められます。これが、伝統の中央支部の練習だそうです。

練習後の爽快感、それはスポーツをやった人にしか分らないすばらしいものです。6回の練習もこの爽快感を求めて、済々黉にかよいました。

試合当日、会場は熱気にあふれ、各チームとも自信满满、我が中央Bチームも堂々と、試合に臨んだのですが……。

結果的には、一勝もあげることができませんでした。菅原先生の気合のはいった声で勇気づけられ、何度もフルセットになり、いいところまでいったのですが、あと一押しができませんでした。しかし、私にとって、くやしい気持は少しありましたが、勝敗はどうでもよかったのです。

試合後の打ち上げの楽しかったこと、夜の更けるのも忘れ、気軽に皆さんとも話すことができたし、コーチから来年についての指導も聞けたし、皆んなで来年の優勝を誓い合うことができました。

私にとって、済々黉での練習、東海高での試合、そして打ち上げと、そのすべてが、楽しいさわやかな思い出として残りました。

来年も、健康のため、シェーブアップのため、そして楽しい思い出をつくるため、是非参加させて頂きたいと思っています。

千場布記子

川尻

今年のバレーボール大会では川尻地区は何とか8位に入ることができ、思っていた以上の好成績だったと喜んでます。というのも、今年は雨が多くて私達の練習日にかぎって大雨が降り、練習場に出てきにくかったこと



と、他の会合に重なったこともありまして、ただでさえ人数の少ない川尻支部では練習試合も満足にできず他の支部の人のお手伝いを願う次第でした。コンビネーションが大事なバレーボールにとってぶっつけ本番で望んだ試合で何とかゲームの形ができていたので安心したことでした。又、練習、試合に出てこられる会員の先生の顔ぶれは毎年限られていて何とか全員の先生方が参加していただければと思っています。バレーボール協力委員をお願いした井尾先生と三角先生には本当に御

苦労をおかけしました。大会当日も選手人数ぎりぎり位しか集まらず誰かが「ケガ」でもして途中で棄権をしなければと心配しましたが、皆ハッスルプレーをして活躍してもらったわりには何とか無事に大会を終わることができましてホッとしています。今年は試合のことよりも井尾先生が手配をして下さった昼食の弁当が好評で、これを食べただけでも会場に足を運んだ価値があったのではないのでしょうか。試合に参加していただきました伊藤先生、河野先生、井尾先生、三角先生、それから従業員の皆様方本当に御苦勞様でした。応援に来ていただいた富岡先生、成松先生、御家族の皆様方ありがとうございました。試合終了後、例年のごとく家族を加えて打ち上げをし反省会とともに来年の健闘を誓いました。

(久保田記)



「硬質レジンクラウン・ブリッジへの応用」

講師 熱田 充 先生

(長崎大学歯学部補綴学第一講座教授)

昭和63年度、第1回目の学術講演会が去る7月22日(金) 歯科医師会館3Fホールにおいて、140名の会員の参加の下に、盛況のうちに終わりました。熱田充先生を講師として御招きし、「硬質レジンクラウン・ブリッジへの応用」という演題にて約1時間半講演していただきました。



硬質レジンが昭和61年の4月より、前歯ブリッジの前装用にも保険適用が認められ、使われる頻度も増している今日、メタルボンド・ポーセレンとの比較及び、我々開業医が最も頭を痛めているレジン前装冠の欠点である磨耗・変色・破折・ブランクの付着等について、最近の硬質レジンになって、どれだけ改善されたか、又硬質レジンの将来性について基礎、臨床の両面、臨床の両面よりのスライド説明がありました。



に液と粉が練り合わせてあるワンペーストタイプで、有機質複合フィラーを初めて硬質レジンに初めてワンペーストタイプを採用し、かつ光重合法を導入したタイプ(デンタカラー)等が開発されてきた。

(2) 操作法による分類

現在広く使われている硬質レジンには操作法からは3つに大別できる。1つはSR-パイロブラストやサーモレジンに代表される、液と粉を混ぜて作ったペースト状のレジン泥を何回にも分けて熱風で固めながら盛り上げるもの、2つ目はイソシット-Nのように液と粉があらかじめ混和され、パテ状にしてあるものをスパチュラで積層し、加圧、加熱重合器中で一気に固めるタイプ、3つ目はデンタカラーのように、同じく一成系であるが、各色を積層するごとに30~60秒の光照射をして固めてゆく方法である。

(3) 市販硬質レジンモノマー組成による分類とPMMAレジンとの比較を表1に示す。

(1) 硬質レジン開発のながれ

硬質レジン第1の特徴は、操作性が非常に易くなった事である。液と粉を混ぜ、築盛し50℃で加熱するタイプ(商品名 パイロブラスト)、液と粉を混ぜて常温でペースト状にするタイプ(サーモレジン)、シリンジの中

表 1

モノマーによる分類	商品名	硬さ	耐磨耗性	曲げ強さ	吸水性
M M A 系	ダイヤモンドD ビタK+B バイオロン テクニカルレジン	△	△	△	△・×
E D M A 系	サーモゼル プラスチーク	△・×	○△	○	△・×
M(P)EPP系	バイロプラス サーモレジン 新メタジン	○	○	○	○
U D M A 系	イソシット(-N) デンタカラー エリスボンド ★タウラー	◎	◎	◎	△・×

＊ PMMAと比べて×劣る △変わらず ○よい ◎かなりよい。
＊ ＊有機質複合フィラーの効果も含む。

以上の如く、光重合になった事、ワンペーストタイプになった事が、硬質レジンの進歩の大きな要因である。

(4) 硬質レジンの長所

次に硬質レジンの長所として、①歯数の多い前装冠、②欠損歯数の多いロングスパン・ブリッジ（メタルボンドで作れば繰り返し加熱による変形がある。）③接着ブリッジ、④コーヌスの外冠（コーヌスの外冠にはコーヌス力が働き外冠のひずみを来すため、メタルボンドだと破折する）に適用できる点である。

(5) 硬質レンジの短所

レジン前装冠の欠点である磨耗・変色・破折、プラークの付着等の欠点が硬質レンジになりどう解決されたか。

① 磨耗について

レジン前装冠は切縁近くまでメタルでバックキングする事を原則としているので、レジンの磨耗は主に歯ブラシによるものと考えてよい。モノマー・キャストした架橋剤の耐磨耗性が優れていることから、一度固めた架橋剤を粉砕してフィラーとして使う有機質複合フィラーが開発導入され、耐磨耗性は大幅に向上した。普通のレジンの10倍前後にも耐磨耗性がアップした。又、表面滑沢硬化剤にも著

しい効果が期待できる。粉液型の硬質レジんにこれを塗布すれば有機質複合フィラー入りのものに匹敵した耐磨耗性が期待できる。実験的には、やや厚目に塗っておけば硬目の歯ブラシで2万回こすってもまだ効果がある。さらにレジン前装冠装着後のブラッシング指導が必要である。普通の硬さの歯ブラシにリン酸カルシウム基剤の練り歯みがきをつけて軽く全歯の歯面を磨き、口をゆすいで歯磨剤を吐き出してから改めて歯肉を主にしたブラッシングをする。又、形成と維持部の付け方も耐磨耗性を左右する。

② 変色について

レジンの性状の不均一さによって表面の滑沢さが失われる場合で、維持部がしっかりしていないと、その隙間に唾液が浸入する事によって変色を来す。滑沢な研磨面を得るには、マトリックスとフィラー部分の性状に大差のない有機質複合フィラーの採用が効果的である。メタル・フレームとレジンとの隙間への唾液などの浸入を防ぐには辺縁封鎖性に優れた維持部が必要であり、微細なリテンション・ビーズをつけ接着性オパークを併用するのが効果的である。

③ 破折について

前装部レジンが破折するのは、維持部が貧弱な上に切縁をレジンにした場合がほとんどである。普通に切縁を金属でカバーしておけばメタルフレームが変形しない限りレジンの破折や脱落はおこらない。尚歯牙の切削は0.8mmを目安とすればよい。

④ プラークの付着について

冠そのものが不適合である場合が多いが、

面が荒れていたり、重合が不完全で未反応モノマーの流出が考えられるので、熱風で硬化させる際に急激な高温を加えず、粉と液を混ぜてから予備重合するものでは、温度と時間を守ることが大切である。又、表面滑沢硬化剤の塗布にてこのような未反応モノマーの溶出を防ぐことができる。



講座を聞いて、以上のように、従来のレジンの欠点がかなり改善されてきたようで、硬質レジンの限界をわきまえて使えば非常に役立つ材料であり、硬質レジんでもメタルボンド同様、時間と情熱を注げばいいものができるのではないかとという熱田教授の硬質レジンに対する情熱・意気込みがひしひしと伝わり、我々が硬質レジン前装冠及びブリッジを日常の診療で応用するにあたり勇気付けられる講演内容でした。

市学術委員 緒方 敏克

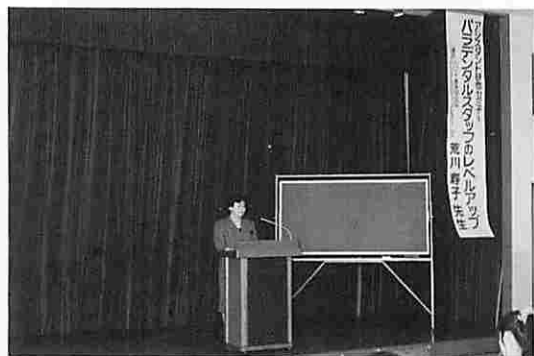


パラデンタルスタッフレベルアップセミナー

熊本市歯科医師会
医療管理委員会

藤 波 好 文

7月2日(土)、午後3時より歯科医師会館3階ホールで、パラデンタルスタッフレベルアップセミナーが、キャリア開発研究所(福岡)の荒川寿子所長を講師に迎え開催されました。120名のスタッフの皆さんと10名の先生が出席され、2時間熱心に事例やSmile 訓練も交えた講演が行われました。以下、その概要について記します。



歯科医院をとりまく環境変化への対応、歯科医療サービスの充実、院内活性化、また良い人間関係の維持の為に、スタッフ1人1人が心構えはもとより、挨拶、言葉使い、応対、接遇の基本的動作を充分身につけ、患者の心を把み、プロとして通用するように意識も持ち、行動する必要がある。

(1) 歯科医院環境変化への対応：医療モラルの問題がクローズアップされ、医療の社会的責任が問われており、また患者はこれまでの受け身の受診態度から診療所を選択して受

診するように変わってきている。院長の技能は最も価値が高いが、現在ではスタッフの協力によるチーム診療が一般化されてきており、直接患者に接するスタッフの評価の良し悪しが、診療所そのものの評価へつながっていく。チームとしての考え方と協力できる有能なスタッフの存在が歯科医療のサービスの充実に加え、患者の良い評価となり、口込み等によるデンタルマーケティングの開発へつながっていく。

(2) これからの歯科医療サービス：サービスには基本の3S－Smile, Speed, Sincevityと5原則－安全性、清潔、快適性、便宜性、合理性があり、この上になって患者が何かを求めているか等も考え、サービス意識を高めていく必要がある。

(3) 院内活性化の促進：働き易く、働きがいのある職場づくりをする。これには仕事の基本の徹底と作業の見直し、効率化する必要がある。院長の診療方針、経営方針をスタッフにわかり易く明確に伝え、スタッフは各々の仕事場面で問題があれば原因、対策を見直すためにミーティングで話し合い、それをアクションとしてあらわす。その為に院内ミーティングの定例化が不可欠である。

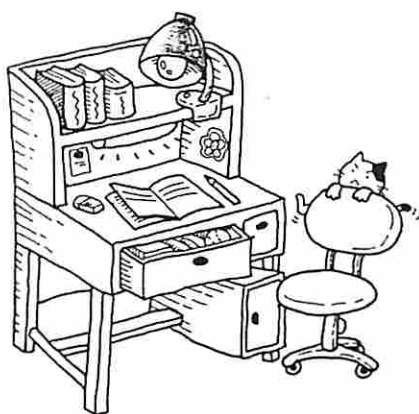
(4) アポイントメントコントロール：院長と患者の両方の都合の良い時間をとるのが第1

であり、時間は院長の指示をうける。待たせる、痛い等のイメージをなくすため、適格なアポイントと患者を不愉快にさせない言葉使いによるコミュニケーションも必要となる。キャンセル、中止に対しリコール（知らせるサービス）時には再リコール（ラブコール）で患者の再来院をすすめる。

(5) よりよい人間関係の維持：話し手と聴き手のバランス、正しい敬語、短い言葉での結論、聴くことを重要とする。人に好感を与える等コミュニケーションを良くすると共に、人間関係をよくするストロークの活用が必要である。



以上概要ですが、講演中にはSmileの練習、よく使われる対用語、好ましい用語例、電話対応の仕方を示され、日常スムーズに会話に使えるように繰り返し練習の必要であるとされました。詳細は講演時配布したテキストを読んでいただき、少しでもスタッフの皆さんの意識行動の改革やレベルアップに役立てたら幸いに存じます。



ブラッシング指導・実習研修会

学術委員会 小 柳 大 明

6月18日（土）、19日（日）の両日、デンタルスタッフのブラッシング指導、実習研修会が中島学園2階において、G・C社九州営業所の御協力により実施されました。

予防、治療の基本となるブラッシングということで、スライド・ビデオ・パンフレットを駆使して教えられ実習においては、染め出し法によるマン・ツー・マン方式により徹底した指導が行われました。



ブラッシングの方法としては「1種類の方法では決してきれいにはならない。毛先でプラークを除去することを念頭におき、短時間で楽にきれいに出来る方法を見つけ、自分なりに歯ブラシを使いこなせば良い。」ということでした。

両日とも参加されたスタッフの皆さんが真剣な態度で取り組んでおられました。習得された技術を患者さんのために遺憾なく発揮されて、より明るい医院づくりに利用して頂け

れば幸いです。



熊本市歯科医師会学術委員会

アンケート調査結果報告

本年4月1日より生涯研修制度が実施され、会員の先生方の学術研修に対する関心も高まっておりますが、学術委員会といたしましても全会員を対象とした幅広い研修活動を行ってまいりたいと考え、5月末より6月初旬にかけ会員の先生方にアンケートをお願いいたしました。それに対して、早速御返事をいただきありがとうございました。ここにその結果を報告いたします。

尚、依頼件数262に対して、172の回答件数で、回答率は65.64%でした。

A. 先生の年齢

～39	81	41%
40～60	66	38%
～61	25	21%

B. 講演者の希望

大 学 の 先 生	76	40%
開 業 医	105	55%
そ の 他	9	5%

(複数回答)

C. 講演、その他の行事の開催場所、日時、回数

歯 科 医 師 会 館	150	86%
支 部 単 位 で 指 定 す る 場 所	14	8%
そ の 他 の 場 所	11	6%

(複数回答)

平 日	68	36%
土 曜 日	96	52
日 曜 日	23	12

(複数回答)

午前9:00～ 12:00	5	2.6%
午前9:00～午後5:00	13	6.8%
午後2:00～午後5:00	86	45%
午後7:00～午後9:00	51	26.7%
午後7:30～午後9:30	36	18.8%

(複数回答)

2 回	26	15.4%
3 回	51	30.2%
4 回	57	33.7%
5 回	27	16%
そ の 他	8	4.7%

(複数回答)

D. 各科別テーマ (クラウンブリッジ)

クラウンブリッジの形成と印象	33	13.5%
ブラークコントロールのできるブリッジの設計	48	19.6%
接着ブリッジ	48	19.6%
最近の支台築造の考え方	56	22.8%
キャストابلセラミックス、ポーセレンラミネートベニア	60	24.5%

(複数回答)

(パーシャルデンチャー)

アタッチメント	42	14.9%
オーバーデンチャーの適応を考える	30	10.6%
コーヌスクローネの適応を考える	33	11.7%
レジン床義歯と金属床義歯の設計の違い	46	16.3%
顎位改善の必要な症例の治療計画	59	20.9%
トリートメントデンチャー及びテンポラリークラウンの活用	18	6.4%
パーシャルデンチャーの予後と対応	54	19.2%

(複数回答)

(フルデンチャー)

フルデンチャーにおける適切な筋圧形成を得るための印象	56	19.4%
ティッシュコンディショニング	19	6.6%
審美性を考えた人工歯排列	29	101%
ゴシックアーチとチェックバイト	36	12.5%
フルデンチャーの咬合高径	40	13.9%
フルデンチャーの咬合調整	35	12.2%
フルデンチャーの難症例の診断	73	25.3%

(複数回答)

(口腔外科)

最近の歯科インプラント	59	18.8%
顎関節症の診断と治療法	64	20.4%
薬の知識(基礎)薬の使い方(臨床)	42	13.4%
歯科口腔領域悪性腫瘍の早期発見における歯科医の役割	36	11.5%
G.P.で行なえる歯牙外傷の処置	20	6.4%
難拔牙	25	7.9%
小手術	32	10.2%
難治性口内炎	36	11.4%

(複数回答)

(歯内療法)

超音波を用いた根管治療	36	14.5%
最近の根管充填	51	20.6%
根管処置でどこまで治せるか	77	31%
根管処置の難症例	59	23.8%
変色歯の処置	25	10.1%

(複数回答)

(充 填)

軟化象牙質はどこまで除去すべきか	56	27.3%
光重合レジンの特性と充填法	26	12.7%
知覚過敏の処置法	78	38%
白歯部充填材は、レジンかアマルガムかインレーか	45	22%

(複数回答)

(歯 周)

歯周疾患の治療計画	65	27.2%
歯周補綴	37	15.5%
Perio と Endo の相関についての検討	53	22.3%
Perio の治療に矯正がなぜ必要か	13	5.5%
Perio 予後の理想像を求めて	28	11.8%
新幹線型 (I 型) の治療	42	17.7%

(複数回答)

(小児歯科)

乳歯、幼若永久歯の歯冠修復及び歯髄処置	72	31.3%
乳歯、幼若永久歯の外傷の処置	24	10.4%
混合歯列期における咬合誘導	46	20%
シーラント充填の理論と臨床	16	7%
乳幼児の歯科健康管理	12	5.2%
小児の取扱い型	24	10.4%
小児における麻酔	36	15.7%

(複数回答)

(X 線)

X線写真の読み方	66	41%
きれいなX線写真の取り方	73	45%
歯科領域X線撮影時の防護	22	14%

(複数回答)

(矯 正)

一般臨床における小矯正のテクニック	66	31.4%
乳歯の反対咬合の矯正治療	20	9.5%
混合歯列期の矯正治療	23	11%
不正咬合の難易度の見分け方	41	19.5%
可撤式床矯正装置による矯正	19	9%
機能的顎矯正法の理論と実際	13	6.2%
成人矯正	28	13.4%

(複数回答)

(そ の 他)

一口腔単位の治療方針	20
歯科疾患を有する患者の心理をめぐる諸問題	32
診療室における感染症の予防（肝炎、エイズ等）	21
新しい歯科材料	29
歯科臨床における偶発症の予防と対策	38
隣接医学	21
内科	20
産婦人科	14
耳鼻咽喉科	26
皮膚科	8
その他	4
予防歯科	8
口腔衛生	9
医事紛争に関して	21
東洋医学	37

(複数回答)

以上が今回のアンケート結果であります。
「項目A. 先生の年齢」以外は重複回答とな
っております。会員の先生方の御協力に感謝
致します。

学術委員会 川崎 俊明



熊本歯科三水会25周年記念学術 講演会開催さる。

※日 時 昭和63年11月20日（日）
午前9時～午後4時30分

※場 所 熊本県立劇場 地下会議室

※有 料

※問い合わせ先

トーデント九州熊本支社

担当 城 後 美喜男

熊本市大江6丁目25-19

TEL 096(372) 7 5 1 0

委員会だより

(社保委員会)



社保担当理事
本 田 亘

中根新会長のもとで、社保委員会をお預かり致しまして早くも半年が過ぎようとしています。私としての抱負は前に述べさせて頂きましたので、今回は各委員の紹介をさせていただきます。

津田委員長以下委員5名、総勢7名の社保委員会ではありますが、任期の3年間、各自の能力をフルに発揮致しまして会員の皆様のお役に立ちたいと思います。御指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。

委員長
津 田 勝 久

今期、社保委員会の仕事をするようになり、保険請求に関して色々な疑問や不満が有ることを知りました。私達社保委員会としましても本田理事を中心に一つ一つお答えできるよう頑張りたいと思っております。質問、要望がありましたら会の方へお知らせ下さい。

副委員長
渡 辺 博

市の委員会は初参加ですが、本田理事を筆頭に皆さんゴルフ仲間なので最初から気兼ねせず発言でき、毎回楽しい会合です。

保険の事は苦手なだけに、今年からコンピュータを使ってレセプトを作成していますが、最終チェックでやはり2～3のエラーがみつかります。この機会にめったに読まない青本を開き、減点や返還のないレセプトを目ざし、少しでも本田先輩のお役に立てばと思っています。

稲葉逸郎

はじめての社保委員として4ヵ月がたちましたが、先輩の先生達の指導のもとで多くの事を勉強させていただいております。会員の皆様に多くの知識と情報を送れる様に、又毎日の診療に役立てていただける様、微力ですが、社保委員として頑張るつもりでございます。

三 筈 司

社保委員になって、私は自分自身の為のみでなく、歯科医師会会員全員の為に、保険というものを勉強しなければならないと思います。そしてこれから、皆様の為に収入源であります保険を、全員がうるおう様頑張りたいと思います。

そしてまた、社保委員会というカヤの中だけでなく、多くの委員会の先生達と交流を持ち“遊び”“学び”そして楽しい歯科医師会を築いて行きたいと思います。

松 本 光 示

先日、突然担当理事の本田先生から電話で社保委員をやれとの話があり、僕としてはまったく勉強不足の為、荷が重すぎますとお話ししたのですが、本田先生の「お前が一番勉強していないから、勉強しろ!!」との優しいお言葉になるほどと思い、委員に加えていただくことになりました。

微力ではございますが、会員の皆様のお役に立ちたいと思っています。

御指導、御協力の程よろしくお願い致します。

有 田 俊 昭

この度、社保委員に委嘱され、本田理事の下で社会保険の勉強をさせていただくことになりました。

今後、会員の皆様から歯科点数の解釈について質問を受けた時に、即答は出来ないと思いますが、自分で調べ、また委員会の諸先輩に相談し、返答が出来るような一つの窓口になればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

(学術委員会)



学術担当理事

伊 東 隆 利

川崎先生時代より学術を担当して3期目を迎えますが、会員の先生方のこれまでの御協力を感謝申し上げます。

さてこの春より中根新会長の下で「会員のための会員の歯科医師会」を目ざして新風が吹き込まれていますが、その風が学術委員会の活動にも反映するよう努力したいと考えています。

特に生涯研修制度の問題もありますので、①従来までの活動に加えて、②支部単位での研修活動(手づくり研修会)、③他委員会との共同企画、をこれからの活動の3本柱に考えています。

これからの社会の変革、日進月歩の医学の

進歩、巨大なマスコミの速報性など考えるとき、われわれ歯科医もあんのんとしてはおれません。一般社会における歯科医療に対するNeedsを操り、その変化をつかんでいかねばと思っております。

これまで以上に会員の学術研修は必須のものとなりましょうし、そうすることにより患者への質の高い歯科医療サービスを行うことができるし、また私達の生活の向上にも役立つものと思います。

学術委員会としてはこれからも、会員の先生方のNeedsを操り、期待に沿いたいと思っています。御指導の程よろしくお願い申し上げます。

委員長

小 柳 大 明

今年4月より学術委員会に命ぜられました。

奇しくも今年度より生涯研修制度がスタートしました。研修制度元年であります。その点を踏まえて、いかにして多くのポイントが取れるか特に高齢の先生方（失礼）には十分に配慮する方法を考えていく所存です。

非学浅才の身ではありますが、会員諸先生方の御協力のもと私の出来る限りで、委員会の先生達とチームワークを大切に活動したいと思っています。よろしくお願いします。

副委員長
成 松 賢 二

伊東理事のもと、色々と助けられながら6年間学術委員を続けてまいりましたが、今期も非力ながら引き受ける事となりました。ここに至って、ようやく委員としての表面的な事が分かってきただけで、まだまだ勉強不足のことばかりです。今回、市の会長も中根会長に代わられて、生涯研修制度の導入もあるという事で、学術委員も8名から10名にと増員され、伊東理事も大変張り切っておられます。前年より引き継ぎで残っているのは、斉藤先生と私の2名で、あとは新任の先生ばかりですが、大いに新風を吹き込んでいただき、伊東理事を筆頭に力を合わせて新期学術委員として、会員の皆様のお役に立っていきたいと思っています。

斉 藤 朗

市学術委員になり3期目、はや6年たちました。今回は生涯研修が始まり委員会も今まで以上に忙しくなりそうです。3年間、伊東

理事の御指導のもと会員の先生方のため精一杯頑張って働きたいと思っております。

緒 方 敏 克

伊東理事のお勧めにより学術委員に属して約半年が過ぎます。委員会のたびに自分自身の知識不足、勉強不足を痛感しておりますが、これを機会に、委員会の先生方や講師の先生方に教えを乞い、私自身の知識向上に、そして委員会のお役に立つ様、微力ながら精一杯の努力をしたいと思っております。

川 崎 俊 明

市の学術委員に委嘱され5ヶ月が過ぎようとしていますが、まだまだアタフタと先輩の先生方の後をついて廻っている日々です。

熊本に帰って2年目となり、やっと会の先生方の顔と名前が一致するようになり初対面の挨拶を申し上げる回数も減り、少しばかり緊張感がとれそうだなと喜んでいましたが、今回の学術委員会で再び緊張、特に今年度より生涯研修制度が導入され、会員の先生方の学術研修に対する関心が高まりつつある中で、きちんと仕事ができるか心配しているところです。しかしながら、同じやるからには、少しでもお役に立てるように努力するつもりですので、どうぞ宜しくお願い致します。

添 島 正 和

中根熊本市歯科医師会会長のスタートの年

に伊東学術理事より学術委員に任命され、光栄に思っています。

勉強不足の為、何かと迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。幸い、小柳委員長とは以前、県の学校歯科委員会で3年間一緒に仕事をしてきて気心が知れていますし、中西先生は高校の同級生でもあり、又伊東、永田先生とは同じスタディグループに属しています。そういう訳で、和気あいあいとしたいいムードの中で仕事をさせてもらっています。

他に学術委員会では大先輩の成松、斉藤先生と新しく学術委員になられた若手の緒方、川崎、西野先生がメンバーですので、体力で負けないようにトレーニング（早朝ランニング、水泳、ゴルフ、飲み方）に精を出している今日この頃です。

永 田 省 藏

今度、初めて市委員会のメンバーになりました。以前、学術のお手伝いをしていた頃もあり、その雰囲気の良いに、もし入るとすれば学術をと思っていたところ、今回お誘いあり喜んで入れてもらいました。今までは歯科医師会に入会しながら、会に対してほとんど無関係に過ごしていましたが、委員会の運営にも早く慣れて、微力ながらもこの会を通じて歯科医師会のお役に立つよう努力する所存でございます。諸先生方、宜しくお願い致します。礼！

西 野 隆 一

市の学術委員に委嘱され、大変に責任を感じております。現在、右も左も分からない状態で、ただ他の委員の先生の邪魔をしないように努力していく所存です。今年は、記録係として「かわら版」で、会員の皆様とのコンタクトを深めて行きたいと思います。御意見、御要望およせ下さい。

中 西 一 夫

日本国は自由主義経済国家である。しかし医療は殆どが保険診療という枠で統制を受けている。また、唯一術者自身が自己裁量によって技術料金を定められる自由診療部門も特定療養費として統制を受け様としている。卒後の研修も生涯研修という名のもと画一化されてしまった。まるで共産国家である。しかし、保険医であるからには統制は承知の上であり、日歯会員であるからには生涯研修は義務である。この時代にあつての生涯研修、つまり20代の先生と70代の先生。専門医局にいた先生と卒後すぐ開業した先生等……。この様な各々レベルの異なる会員を、同一テーマで同一講師の講演となるとなかなか難しい。

学術委員会では、一部の不満はあるかもしれないが、最大公約数でしかテーマを選択できないと思う。

サンアントニオ市歯科医師会長を訪ねて

臨時委員会 池 上 富 雄

5月1日より3日間ニューオリンズで開かれた第88回全米矯正歯科学会に出席した機会に、昨年熊本市と姉妹都市関係を締結したサンアントニオ市に立ち寄った。今回の同市訪問は、我が熊本市歯科医師会と同市の歯科医師会の交流の端緒を開く事を目的としたもので、中根会長より同市歯科医師会会長にあてたメッセージを携えての表敬訪問であった。

(以下メッセージ文)

Message to the President of the San Antonio Dental Association from the President of the Kumamoto Dental Association

April 8, 1988

Dear Sir,

The Kumamoto Dental Association is very proud and pleased with the recently formed sister city relationship between our city and yours, and regard it as a great opportunity to deepen the friendly relations and understanding between our two cities, which have so much in common.

Our Association is hoping to further develop our friendship through cultural exchange (in spite of recent problems such as the Toshiba affair!), and as a symbol

of these intentions and hopes, I have entrusted this message to a member of our International Exchange Commission, Dr. Ikegami.

(中略)

We sincerely hope that further programs of this type will enable our chapters to gain deeper relations and understanding.

Shungo Nakane

President, Kumamoto Dental Association
3-65, 2-chome Tsuboi

Kumamoto 860 Japan

Tel. 096-343-6669

ボストン（タフツ大学）でマスター論文の面接試験を終え、Dallas 経由で、サンアントニオ市に到着したのは、4月29日の夕刻であ



った。東海岸のボストンに3年近く住んだ経験はあったものの、南部のテキサス州を訪れる機会はなかったので、初めて見るサンアントニオ市は、いかにも広々とした平原の中に存在する典型的な南部の町という感じがした。地図を見れば明らかな様に、サンアントニオ市は、南部のテキサス州の中でも更に南部に位置し、メキシコ国境迄は、車で3～4時間という距離にあり、メキシコ系（スペイン系）の住民（英語ではヒスパニック・ピープルとよぶ）が大半を占めており、非常にメキシコ色の強い町である。熊本にも昨年暮れに来熊し、強い印象を残して帰ったヘンリー・シスネロス市長は、ヒスパニックを代表するリーダーの一人であり、将来は、大統領選出馬も噂される俊英である。

さて、空港には、日本より連絡をとっておい^たた当地の青年会議所の理事長が出迎えてくれたが、車で市内に向かう途中、それまで晴天だった空が、まさしく“一天にわかにかき曇り”^{たらい}辺りが真暗になったかと思うと嵐の様な強風と、盥をひっくり返した様な、大雨が降り出した。あまりの天候の急変ぶりに驚いて、こんな事はしょっちゅうあるのかと聞いてみたのだが、彼等にとっても珍しい位強烈なミシシッピ河流域特有のTornado（竜巻）だったという事であった。なる程この強風と大雨も竜巻が通り過ぎる間の出来事であつたらしく、1時間もすればおさまり、後はまた嘘のように静かになった。あたかもサンアントニオ初訪問の洗礼の様でもあった。

さて、今回のサンアントニオ市訪問の最大の目的は前述の如く、我が熊本市歯科医師会



到着直後宿から down town を望む。テキサス名物（？）の Tornado（竜巻）。

とサンアントニオ市歯科医師会の相互交流の端緒を開く為に、かの地の歯科医師会長に会い、中根会長よりのメッセージを手渡す事であったが、残念乍ら、日本ではかの地の歯科医師会の連絡先が判らず（日本歯科医師会に問い合わせたが無駄であった）直接のコンタクトはとれず、わずかに小生の米国人の友人を通じて、4月末に熊本から訪問者があるという事だけが伝えられていたにすぎず、実際には歯科医師会長に会えるのかどうかの保証は全くなかったのである。4月27日にアメリカ到着後、移動先より何度も歯科医師会に電話をしたのだが誰も応答せず、ついにアポイントの取れぬままサンアントニオ入りをしてしまったのである（後でわかったことであるが、5月初旬に地区の学会がある為、事務局員が全員出払っていたらしい）。その上、まずい事にサンアントニオには、日程上4月29日（金）より5月1日（日）の週末の3日間しか滞在する事が出来ず、到着翌日の土曜日は歯科医師会は閉まっているのが判っていたので、やむを得ず会長の自宅へ電話した。

会長はあいにく留守（朝からゴルフに出掛けたとの事）だったものの、息子と話をする

事が出来、やっとコンタクトを取る事ができて安堵した。その日の夜に再度こちらより連絡する事にして、その日（土曜日）1日をつ



有名な「アラモの砦」いつも観光客でいっぱい。（熊本に於ける熊本城？）

ぶす為、一人で市内観光のツアーに参加する事にした。市内観光のツアーは、有名なアラモ砦の前が発着場となっており、陸軍騎兵隊の歴史的建造物より始まり、観光客用のメキシコの村を模した“リトルビレッジ”、有名なリバーウォーク、美術館、歴史的建造物の数々を経て最後は、“Lone Star”という地場銘柄のビール工場の見学で、ビールを飲んで終わるというなかなか盛り沢山で楽しいツアーだった。途中あちこちに日本のビワの木があり、ガイドがその実を摘んで来て、ツアーの参加者に食べさせてくれた。ビワの木はテキサスでは、鑑賞用として育てられ、実は誰も食べないそうである。日本のビワと比べると、さすがに食用としての品種改良が進んでいない為か、かなり小つぶであるが味はまあまあであった。

さて、丸1日の観光ツアーを終えて宿に帰着し、食事の後再び会長の自宅へ電話し、やっと会長本人と話す事が出来た。翌日（日曜日）の午後ニューオリンズへ向う予定だった



有名な“リバーウォーク”の水上ステージと観光ボート。人物は観光ガイド

ので、どうしても日曜日の午前中にお会いしたい旨伝えた所、9時より娘が教会で洗礼を受ける為出掛けるので、その前に自宅へ来て欲しいとの事だったので、ふたつ返事でOKし、やっと何とか会える目途がつきその夜は安堵して床につく事が出来た。

サンアントニオ市歯科医師会会長の Dr. Leighton A. Wier は、ダウンタウンのホテルから、車で約30分程の郊外の閑静な住宅地に住んでいた。前庭が約100坪、裏庭が約200



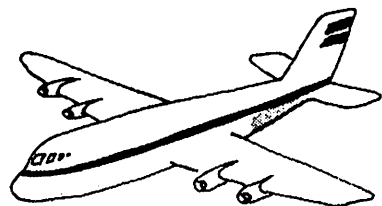
サンアントニオ市歯科医師会会長と彼の家の前庭にて

坪で、平屋建の家屋の建坪が約50坪という事で、狭い土地に住んでいる我々日本人には、うらやましいばかりの広さである。

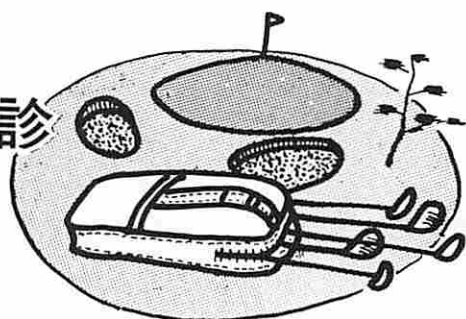
会長は50がらみの温厚で、もの静かな紳士で、日本よりの遠来の客を暖かく自宅へ招き

入れてくれた。日本より持参した中根会長よりのメッセージとおみやげ（熊本市を紹介した観光ビデオと肥後象嵌）を手渡した後、歯科医になりたいという彼の高校生の息子を交えて約1時間程、日米の歯科医師会の組織、活動内容の類似点や相違点について語り合った。会長は、熊本市を訪問する事に強い興味を示したが、昨今の円高の為、アメリカ人にとって日本は遠い国になってしまった、と冗談めかして話をされていた。

将来何かの折に、歯科医療の知識、技術の交流を兼ねて、相互の訪問が実現すれば素晴らしい事ではないだろうか？今回の訪問では、両市歯科医師会の友好関係の発展について、具体的な方策が得られた訳ではないが、少なくとも当方の友好関係樹立への希望は伝えられたものと思う。これを端緒にして、今後両歯科医師会の友好関係が少しずつでも深まっていく事を希望する次第である。

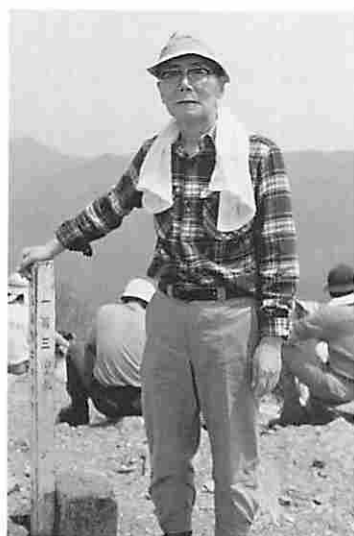


本日休診



山歩きの記

奥田 実



祖父山にて5月1日

私が山登りを始めたのは60過ぎてからである。それまでは痔が悪く長歩きは全然出来なかったが、痔を手術して治ってからは歩くのが楽になり、丁度山登りに誘ってくれる知人がいて、まず登山靴からリュックサック、登山帽など、一応恰好だけは整えて、初めは金峰山と小萩山に挑戦したのである。

最初の頃は途中ですぐに疲れるので、小休止を何度もしたり、小枝で作った杖について

登っていた。しかし、この頃は杖はかえって邪魔になったし、以前より休憩の回数も少なくなってきた。

金峰山へ登るには交通センターから荒尾橋行で終点で下車して、鎌研坂を登るコースが好きで大抵これで行くが、気候のよい春先になると、時々小天行のバスで、峠の茶屋で下車するコースで行くこともある。このバスでは歯科医師会の前事務長だった瀬上幸一氏と一緒にすることがある。瀬上氏は金峰山登山何百回というベテランである。

4、5年前から一緒に登っていた知人が、体調を悪くし山登りができなくなったので、小萩山、金峰山には単独で登ることが多い。ある人に「年を取ってから1人で山登りは危険ですよ」と忠告されたことがあるが、未知の高い山や雪山は危ないが低い山では大したことないし、一人で山登りする楽しみは最高ではないかと思っている。しかし単独行で2度失敗したことがある。1つは市房山(1,722m)へ挑んだ時で、或る年の5月の連休に前



今年の4月、市房山山頂にて息子と。

日は民宿に一泊し、朝早く出発したが、その日は生憎小雨が降ったりやんだりの天気だったが、折角来たのだからと決行して霧雨にぬれながら登り始めたが、金峰山(665m)の2倍以上高いのだからと覚悟はしていたが、なかなか険しい急坂があり、初めての山で頂上までどの位あるか見当がつかないし、帰りのバスの時間を考え8合目あたりで断念して下山したことがある。それは2年前であるが、今年の4月に息子(良樹)と一緒に市房山に再挑戦し、征服することが出来た。頂上まで3時間半かった。麓では桜が咲いていたが、山頂では木の芽も出ていず、日陰では霜柱が立っていた。

また鞍岳へ1人で登る計画をたてた時も、途中で路を間違えたりして、帰りのバスの時間の都合で引き返したことがある。

しかし「山路を登りながらこう考えた。」で始まる漱石の「草枕」に出てくる鎌研坂から峠の茶屋までの文章を心に描きながら、何回となく同じ道を歩いて、或いは気の向くままに峠の茶屋から右へ行く小萩山へのコースを辿ることになっている。私は大抵日曜か祭日の天気の良い日に、月に1、2回程度山に登る

ことにしている。それでも、この2、3年の間に金峰山、小萩山以外の山へ、或る登山会のグループに参加して登った山をあげて見ると、

湧蓋山(1,499m)

三俣山(1,745m)

八方岳(1,051.8m)

丹助岳(815m) 宮崎県

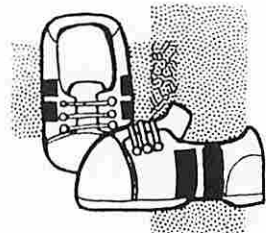
祖母山(1,757m) "

古処山(862m) 福岡県

屏山(926m) "

久住山(1,786m) 大分県

その外単独で二の岳、三の岳へも登った。「熊本百山」の本によると、まだまだ熊本県内でも登っていない沢山の山があるし、九州内の有名な山に元気のある内に登りたいと思っている。山の魅力は登山者の心を、次の山へ、また次の山へと駆り立てるが、山登りは頂上に立つことだけでは終わらない。無事に下山して帰り着くまでを考えて歩く事で、寧ろ下山の時の方が事故に会う率は多く、私もよく滑ったり、転倒したりした。山歩きは私たち運動不足の歯科医にはよい健康法だと思っている。



「私の趣味の世界」

天 村 美 堯

約12、3年前、市歯科医師会会報に海釣り
に就いて書く様に、との事で当時約20年間熱
中していた海釣りについて記した。当時実
に年間100日は海に浸っていたものであるが、こ
れも腰痛を起こして以来自粛中である。

趣味は色々あるが、一番長いのは熱帯魚
の飼育である。開院2年後の東京は目黒区自
由ヶ丘の震災焼跡のバラックマーケットで購
入して以来40年余の今日まで続いている。こ
の間、諸設備も時代を追って変遷を繰り返
し、又熱帯魚も当初1万円位したものも普及に
従い、安価となり大衆的な価格に変わってきた。
現在、治療室の一隅に90㎝と60㎝の水槽が
あり、患者の眼を楽しませている。

次に観葉植物の育成である。別に高価な
ものではなく、駄鉢が約500鉢、治療室に
その内100鉢位があり自分達では手が届
かないので、水遣りの人を一人雇っている。
或る鉢物に患者さんが2千万円の値をつ
けたものがあり、自分は全然信用してい
ないがいくらか心豊かなものを覚えて
いる。治療室の天井に設備したト
ップライトが植物の育成に非常に適切
であるらしく著しい効果を挙げている。

それに、3年程前から始めた奇術がある。
これは以前から興味は持っていたが、先
生についたのは初めてで、何しろ60の
手習いで記憶力の衰えを痛感し、いま5
年も早くから始めていたらと後悔しき
りである。それと月4回の教習日であ
るが、なかなか復習の時間が

持てないのが難点である。毎回2乃至3
種の新ネタを習うので、実際には延300
種位を教わった事になる訳だが、自分
でマスターが出来るのは、7、80種位
だろうか。手先の器用さでは自他共に
許した若年期であったが、トランプの
奇術や紐奇術等の技術を要する術は
年齢のせい、なかなか納得出来るも
のではない。1にも2にも練習が必要
である。

それに今一つカルチャースクールで
勉強しているのに俳画がある。もとも
と中学時代以来の美術部員で、水彩油
彩には多少の素養があり、又「海老研」
でも学んだ経験があるが、又一風趣を
異にした俳画を目下勉強中である。水
墨画に似て輪郭を墨で描き、顔料で一
筆淡彩する俳味ある画であり、広い意
味の漫画である。俳句を添えて色紙に
描くもので、毎回3枚位をものにし
ている。何れ何かの機会にお見せす
る事が出来よう。

拙文を書き連ねたが、諸賢に老化防
止のため、早い時期からの趣味に生き
る日を持たれん事をお奨めする。



新 入 会 員 紹 介



1. 氏 名 鬼 塚 啓 史
2. 住 所
(自 宅) 熊本市新町 2-4-14 三和ビル602 TEL 326-8183
(診療所) 熊本市横手 3-11-20 馬場ビル 1F TEL 326-4618
3. 生年月日 昭和29年5月16日
4. 趣 味 野球、音楽 (カントリー)、碁
5. 好きな言葉 一隅を照らす、これすなはち国の宝なり

6. 経 歴

昭和54年3月 九州歯科大学卒業
 昭和54年4月～昭和58年3月 九州歯科大学大学院 (第1口腔外科)
 昭和58年4月～昭和60年3月 九州歯科大学助手
 昭和60年4月～昭和63年3月 宇治歯科医院 (熊本市大江) 勤務
 昭和63年4月 おにつか歯科 開院

7. 家族構成

鬼 塚 洋 子 (昭和29年6月29日 妻)
 悠 里 (昭和57年12月7日 長女)



1. 氏 名 恵 福 和 志
2. 住 所
(自 宅) 熊本市城山半田町644-2 TEL 329-5530
(診療所) 同 上 TEL 329-5522
3. 生年月日 昭和31年5月3日
4. 趣 味 魚釣り
5. 好きな言葉 一期一会

6. 経 歴

昭和58年3月 九州歯科大学卒業
 昭和58年4月 陸上自衛隊福岡地区病院勤務
 昭和59年8月 同上 退職
 昭和59年9月 熊本老愛病院勤務
 昭和63年6月 同上 退職
 昭和63年7月 えふく歯科医院 開業

7. 家族構成

恵 福 雅 代 (昭和31年7月25日 妻)
 沙 織 (昭和60年2月19日 長女)
 文 裕 (昭和62年3月22日 長男)



1. 氏 名 山 崎 芳 徳

2. 住 所

(自 宅) 熊本市南熊本 4 丁目 7 - 9

T E L 366-5036

(診療所) 同 上

3. 生年月日 昭和34年 2 月20日

4. 趣 味 サッカー これからゴルフを始めたいと思います。

5. 好きな言葉 今が大切

6. 経 歴 昭和60年 6 月熊大病院歯科口腔外科

昭和62年 4 月緒方史朗歯科

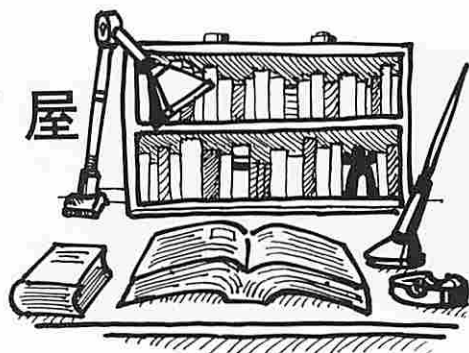
昭和62年11月18日やまさき歯科開院

7. 家族構成

山 崎 百合子 (昭和37年11月 9 日 妻)



勉強部屋



焼付ポーセレンのシェードについて

学術委員 中西 一 夫

審美とは、「美醜を見分けること」と定義されている。審美性とは、本質的にある時代におけるその社会の中で不自然ではないということであって、時代の移り変わりや地域社会の違いによっても変化するもので、例えば日本においても、公家や今川義元に代表される様に「お歯黒」がおしゃれとされた時代、あるいは現代の老人に見られる様な「前歯金冠」がおしゃれと考えられた時代もあった。その点、我々現代社会の歯科における審美性とは、自然そのものの美しさであり、補綴物が前歯に装着されたとしても、あくまで自然に見えることが審美性が良いこととして要求される。補綴の場合、自然観を妨げる最大の要因は色調と形態だが、今回は色調、特に焼付ポーセレントのシェードにしばって考えたい。まず、我々が色を見る為には、光がなくてはならない。その光つまり可視光線は電磁波スペクトル（図1）のうち400nmの紫から700nmの赤まで（図2）で、それ以下は紫外線、それ以上は赤外線で見えることはできない。昼の空

図1

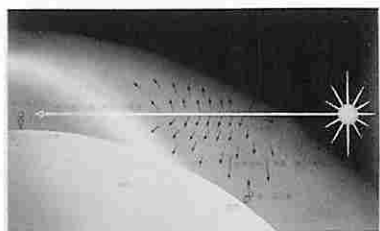
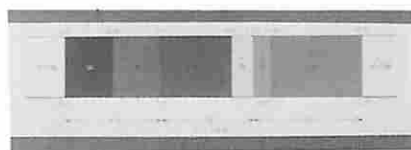


図2

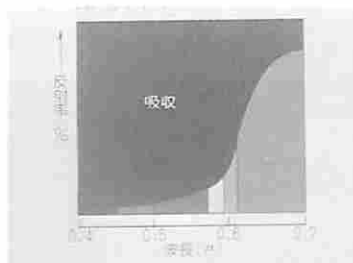


は青く見え、日の出、日の入りの空が赤く見えるのは図3の様に昼間は光が厚い空気中に浮遊する水滴、微粒子、空気分子自身によって波長の短い紫や青の色光が散乱する為で、朝日、夕日が赤く見えるのは昼間の何倍もの厚い大気層を透過するうち短波長の色光だけが残る為である。従って我々が物を見る時、たとえばリンゴだと「リンゴは赤い」と思うのではなく「リンゴという物体は、赤い光を反射し、他の色を吸収する物体」という考えをもたねばならない。精密には図4の如く、赤ばかり反射しているわけではない。私達が

図3



図4



焼付ポーセレン補綴にあたって、色そのものについて言及する時、問題は製作した補綴物が口腔内で残存歯牙とマッチしているか否かで、シェードの選択や色合わせ作業が大変困難であることはご存じの通りである。日常こんなものだろうと案外妥協しているケースが多く、他の歯の色調とまったく見分けがつかない程色調が調和することが珍しい。色調が合わないと、我々歯科医は技工士の製作が悪い、技工士は面と向かっては言わないが歯科医のシェード選択が悪いと、お互い責任転嫁である。そこで色の本質について述べると図5の如く3原則がある。我々の眼球の視細胞は、錐状体と桿状体があり（図6）、錐状体は網膜の中心窩 1 mm^2 のみに分布し明暗と色の識別を行う。 1 mm^2 というと視野にして 2° 、つまり30cm離れて中切歯1本、50cm離れて中切歯2本の色の識別であり、又非常に疲労しやすい細胞で20秒以上凝視すると正常な判断ができない。桿状体は網膜全体に分布し、明暗のみを判断する。目の色に対する感じる方は図7の如く、その時々によって異なるが、シェードを見る際、最も重要なものは光源である。

図5



図7

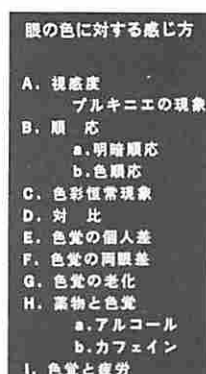
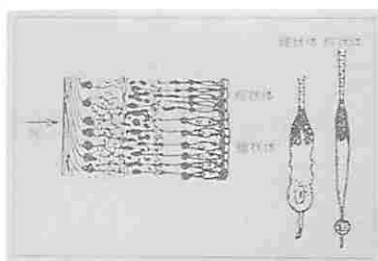


図6



我々が衣服を買って帰ると、店で見た時の色と少々異なって見えることがよくある。これは光源によって起こるメタメリズム（図8）であり、色温度で5000 K前後が最もメタメリズムが起こりにくい。だから、シェードを見る時は、図9の如く薄曇りで12時ごろの北側の窓の光源が一番良いとされる。しかし、患者が来院してシェードを見る時は、いつもこの条件であるとはかぎらない。むしろこの条件下でシェードを見るのがきわめてまれである。そこで TRULIGHT という蛍光灯があ

メタメリズム (条件等色)

ある光源で同じに見える物体を光源を変えて見ると色が異なって見える現象

色温度

ろうソクの灯	2,000K*
タングステン電球	2,900K*
白色蛍光灯	4,000K*
雲り空	5,500K*

図8

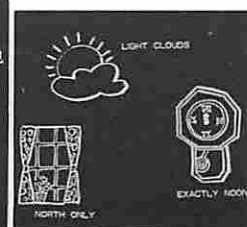


図9

る。これは5500k°でこの条件を満足する。これを3.5m×3.5mの部屋で40Wで12本装備すると良いが、この蛍光灯40W 1本で約9000円するのが難点である。これを診療室はもちろん技工室にも装備することである。又、光が天然歯牙を通過するのは図10、図11の如くであるが、焼付ポーセレンを通過するのは、図

図10

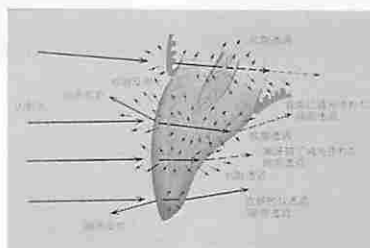


図11

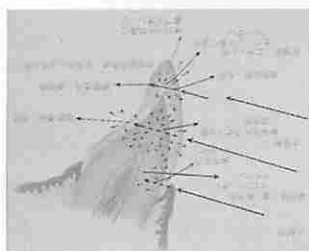
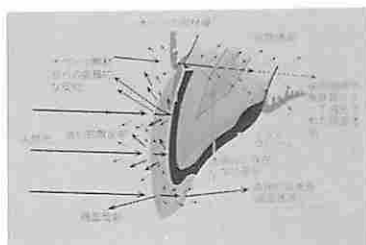


図12



12の如くである。では、図13の如く、わずかな約1mm前後の厚みで天然歯に似た色調を出すには、どうしたらよいか。まず、シェードの選択だが、私の場合技工士を中心にして、左右に私と衛生士を配置し、プレストン法(図14、図15)によって1つ1つチェックしながらシェードを選択していくことにしている。

いよいよ製作になるわけだが、保母先生は、図16の様に陶材を築盛していくと、焼付冠独特の鏡面反射が起こらず、BESTとされる。

図13

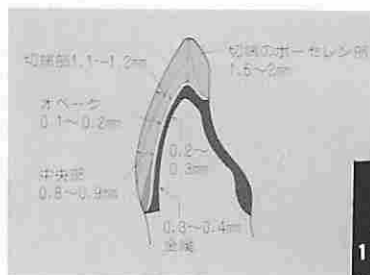


図15



図14

プレストン法

1. 長軸を見る
2. 上下を見る
3. デンティンの形態
4. 色相
5. 明度
6. 彩度

まず、1次オペークは、メーカー指示より20°位高く焼く。これはポーセレンと金属の結合強化が目的であるから、ガラス化し原子間結合を強くさせる為である。2次オペークはメーカー指示より少々低めの温度で焼き、表面をザラザラにし、光を拡散反射させる様にする。この時オペークスチンすることもある。1次デンティンは透明度の少ないボディ色を用い、2次デンティンは通常のボディ色を用いる。しかし、隣接面のボディ色は光の通過の為築盛するのを止める。最後にキャラクターリゼーション(図17)も忘れないこと。又、メタルによっても製作中、色調に変化が起きる。(図18)

もし患者の口腔内で色調が合わない場合は、シェードの変更が必要なわけだが、この時は補色の色を用いる。(図19) この時注意しなければならないのは明度が低下すること、つまり色調が暗くなることである。この点を患者が気にしたら再製した方が良い。



図16

キャラクターゼーション

1. ヘアーライン
2. ニコチンステイン
3. ホワイトスポット
4. ピンクスポット

図17

メタル

1. ハイゴールド
Au 84%
基底
2. ローゴールド
Au 50%...Auのもつ役目ギリギリ
Long span
pd (パラジウム)
焼成時→水素ガス放出
→サブークに水素の気泡
Au (金)
酸化→グリーン
3. セミプレシス
Au 50%以下
Ag (銀)
酸化→グリーン
基→使用金属量が少ないので
Bridges→使用金属量が多くなるので酸化
4. ノンプレシス
Au 5%
Cr (クロム)
焼成→600℃ 酸化なし
→1,000℃ BLUE
クリープ現象
金属の中で顕著になる。

図18

図19

シェードの変更

Color WHEEL (色環)



例 67 + violet = 69
65 + blue = 69
只し明度低下

結論として、我々がシェードを選択する時、なるべく同一光源で、短時間で体調を良くし、年齢とともに水晶体が黄色味を増し、褐色がかって物が見えてくるから、色覚の老化が起きる以前の若い技工士を同伴させ、一緒に見

させておくことが必要である。



新樹会第3回例会報告書

吉 良 裕 明



去る6月11日、新樹会第3回例会が歯科医師会館3階大ホールに於いて開催された。本年度は「これからの歯科医療を考えよう」と言うテーマを掲げ、在宅医療に積極的に取り組んでいる新樹会では、この分野の専門化である大阪大学医学部公衆衛生学教室の新庄文明先生をお招きしての講演会となった。会場には新樹会々員のみならず、一般会員の先生方の姿も多数見受けられ、寝たきり老人等の在宅医療に対する感心の高さが伺われた。

原賀議長の挨拶で始まった例会は、まず徳永俊英先生から歯科医師協同組合の活動状況について報告があったあと、県社保担当理事の片山幹夫先生より、今度の点数改正で特に在宅医療に関係の深い事柄について、詳しい説明が行われた。続いて、会員を代表して遠山啓介先生が「歯科往診治療と私の雑感」と題し、往診治療の困難さや寝たきり老人の歯科医療の問題点等を、実体験に基づいて切々と訴えられた。

盛り沢山の内容が続く中、最後に新庄先生が登壇され「寝たきり老人の歯科医療とその背景」というテーマで約1時間半に渡り、老人医療の位置付けや日本における寝たきり老人の特色、老人ホールの立ち遅れ等について講演され、老人保健対策として①問題提起②組織的対応③制度的対応の3段階を提言された。また一般歯科医療についても、医師数の増加には対象患者の拡大、疾患の減少には事業の拡大、技術の向上には対象年齢の延長と、それぞれの問題に明確な指針を示され、老人医療の枠にとどまらない幅広い内容に、参加された先生方も熱心に聞き入っていた。

老人医療の需要が高まる中、今回の講演会はまさにタイムリーなもので、今後私達の医療活動に大きな方向づけを示したものといえよう。



会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
6月21日	理事会（会務、会計委員会報告、協議、その他）
7月13日	〃
8月19日	〃

口腔衛生委員会

月 日	協 議 題
6月16日	母と子のよい歯のコンクール反省 医専連の健康展の計画立案準備
7月2日	県民健康の日、医専連、九地連の日程打ち合わせ 東部保健センターの報告
8月24日	NHK「ハロー健康」その他 幼稚園フッ素塗布 医専連について

医療管理委員会

月 日	協 議 題
6月17日	デンタル・スタッフセミナーについて 支部境界線の線引に関して アンケートについて
7月2日	スタッフ研修セミナー アンケートについて
8月3日	急病時の代診制について スタッフ研修セミナーの反省

厚生委員会

月 日	協 議 題
6月7日	バレーボール大会について
6月28日	〃

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
6月10日	アンケート集計 市学術講演会について
7月8日	〃 について 秋期講演会について
8月8日	九地連、その他

学校歯科委員会

月 日	協 議 題
6 月 29 日	はみがき巡回指導 学校保健合同研修会 全国学校歯科保健研究大会

社会保険委員会

月 日	協 議 題
6 月 8 日	個別指導について 点数改正後のメリットデメリットについて アンケート集計
7 月 12 日	社保アンケート集計
8 月 9 日	点数表の解釈について カルテ・レセプト略語集について

臨 時 委 員 会

月 日	協 議 題
8 月 17 日	生涯研修の件 国際交流の件 寝たきり老人の在宅歯科医療の問題

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
6 月 3 日	季刊誌・かわら版について 6 月発行季刊誌のチェック
6 月 9 日	小委員会、編集会議
6 月 21 日	季刊誌62号の第 1 回校正
6 月 29 日	小委員会、62号の最終校正 かわら版 7 月号
7 月 8 日	小委員会、62号の訂正
7 月 15 日	8 月出版のかわら版の原稿依頼
8 月 2 日	63号編集会議、かわら版編集
8 月 26 日	63号編集会議

編集後記

限られた予算、知らせなければならない情報、もっとユニークな企画、レイアウト、いかなる文章をも乗り越える1枚の写真、ただ当り前の顔・形・状況を知らせるだけの写真、そしてそのコメント等々はじめて季刊誌の全てをまかされて、ボーッとなってしまいました。

次こそもっと良い季刊誌を……。

広報委員 Y. O

熊本市歯科医師会会誌

第 63 号

発行日 昭和63年9月30日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会
熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

発行責任者 中 根 俊 吾

印刷所 株式会社白瀬
熊本市水道町13番14号

TEL (356) 3593